

岩手県感染症週報

平成25年第50週(12月9日～12月15日)

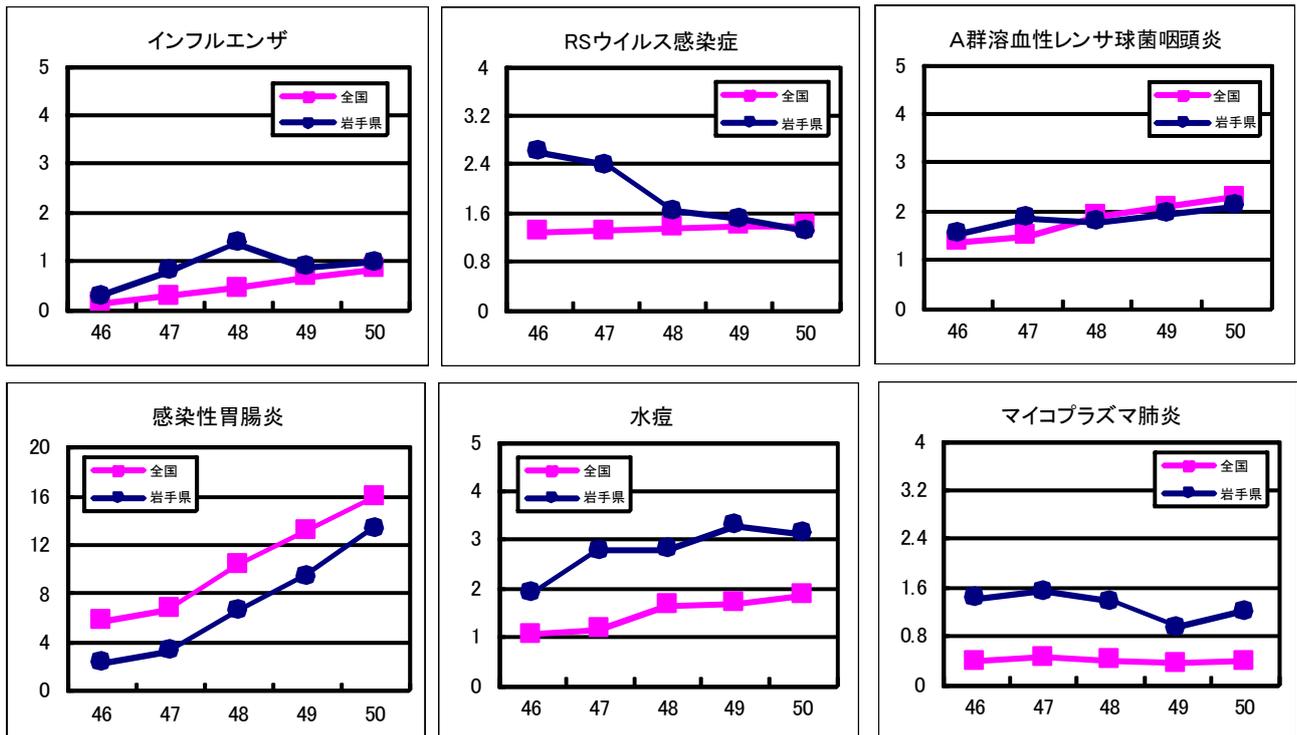
岩手県感染症情報センター

第50週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が、1例(潜在性結核なし)ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・アメーバ赤痢の報告が1例ありました、患者は50歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・感染性胃腸炎は、県全体で大きく増加しました。定点あたり患者数は、二戸地区で警報値20人を超え42.5人となりました。また、盛岡市、奥州および宮古地区で10人を超えています。11月の下旬から急激に増加しており、12月に入ってから、保育園等や老人施設等でノロウイルスによる集団感染事例が9例発生しています。今後の感染の拡大に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗い(帰宅後、調理前、排便後など)と、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。
 - ・水痘(みずぼうそう)は、一関地区で警報値(定点あたり患者数7人)を、盛岡市で注意報値(同4人)を超えています。予防には任意ですが、ワクチン接種が有効です。
 - ・インフルエンザは、県全体で定点あたり患者数が0.98人と前週よりやや増加しました。予防には、できるだけ人混みを避ける、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳が出るときはマスクをするなど)などが重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		46	47	48	49	50		
インフルエンザ	岩手県	0.27	0.78	1.36	0.88	0.98	→	☆
	全国	0.14	0.27	0.44	0.67	0.82		
RSウイルス感染症	岩手県	2.6	2.38	1.63	1.5	1.3	→	☆
	全国	1.28	1.3	1.35	1.39	1.39		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.15	0.23	0.35	0.15	→	☆
	全国	0.42	0.46	0.57	0.66	0.73		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.53	1.85	1.78	1.93	2.1	→	☆
	全国	1.36	1.49	1.9	2.08	2.28		
感染性胃腸炎	岩手県	2.28	3.23	6.53	9.38	13.38	↗	☆☆
	全国	5.74	6.72	10.33	13.11	15.92		
水痘	岩手県	1.9	2.78	2.8	3.28	3.13	→	☆☆
	全国	1.05	1.15	1.64	1.69	1.85		
手足口病	岩手県	0.38	0.25	0.08	0.18	0.3	→	☆
	全国	0.68	0.64	0.59	0.47	0.41		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.1	0.08	0.08	0.28	↗	☆
	全国	0.06	0.06	0.07	0.08	0.09		
突発性発疹	岩手県	0.45	0.48	0.43	0.48	0.4	→	☆
	全国	0.55	0.49	0.56	0.53	0.5		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.05	0	0.05	0.03	0.08	→	
	全国	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.83	0.48	0.43	0.48	0.75	→	☆
	全国	0.25	0.22	0.28	0.29	0.26		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.07	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.5	0.79	0.5	0.5	→	☆
	全国	0.56	0.61	0.58	0.56	0.67		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.03	0.04	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.42	1.53	1.37	0.95	1.21	→	☆
	全国	0.39	0.45	0.4	0.36	0.39		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0.05	0	0.05	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.05	0.04	0.04		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	2	6	1	3		
	全国	8	20	41	36			

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		46	47	48	49	50	累計	50	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	6 (3)	7 (5)	7 (3)	5 (3)	1 (0)	223 (76)	331	25418
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	4
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	140
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	0	0	100	134	3974
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	65
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	48
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	113
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	123
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	3	48
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	13
	つつが虫病	0	0	0	0	0	7	22	309
	デング熱	0	0	0	0	0	0	3	238
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	173
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	47
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	19
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	4	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	13	14	1084	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1	0	28	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		46	47	48	49	50		50	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	4	13	1001
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	276
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	3	3	344
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	19
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	5	201
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	195
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	23	1463
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	79
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	99
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	20
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	1	0	3	19	893
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	29
	梅毒	0	0	0	0	0	2	14	1171
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	123
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	52
	風しん	0	0	0	0	0	8	15	14323
麻しん	0	0	0	0	0	0	2	219	
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎は、細菌感染による髄膜炎の総称です。発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とし、項部硬直、Kernig徴候、Budzinski徴候などの髄膜刺激症状が見られることがありますが、新生児や乳児などではこれらの臨床症状が明らかではないことが多い。一般的に全体症状はきわめて不良で、迅速に有効な治療が施されないと致命的となります。

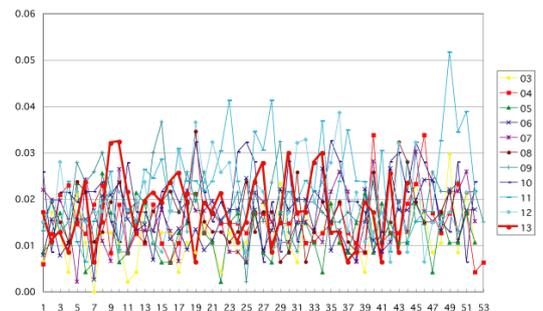
病原体は、インフルエンザ菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌、大腸菌、リステリア菌、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、髄膜炎菌など多種類ありますが、年齢や基礎疾患によって原因菌に特徴があります。流行は特になく、季節性も見られません(グラフ1)。

感染経路は多くの場合飛沫感染であり、原因菌が上気道あるいは呼吸器感染病巣を経由して侵入し、血行性に髄膜に到達します。新生児のB群レンサ球菌感染症の場合には、産道感染も考えられています。その他に、リステリア菌が腸管から侵入したり、粘膜や皮膚に付着している黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌が、カテーテルを介して血行性に髄膜に到達することもあります。

予防としては、感染者からの伝播を避けることです。また、限られていますが原因菌に対するワクチン接種が有効です。今年4月から、インフルエンザ菌b型菌(Hib)に対するHibワクチンや、小児用肺炎球菌ワクチンが、定期予防接種となりました。

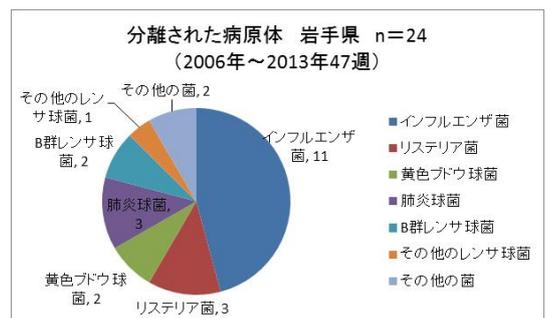
岩手県内で2006年から2013年の47週までに報告された件数は34件で、そのうち24件について病原体が分離同定されています。内訳はグラフ2のとおりです。

グラフ1
過去10年間の細菌性髄膜炎(定点あたり患者数)
全国 (2003～2013年)



国立感染症研究所 感染症疫学センター

グラフ2



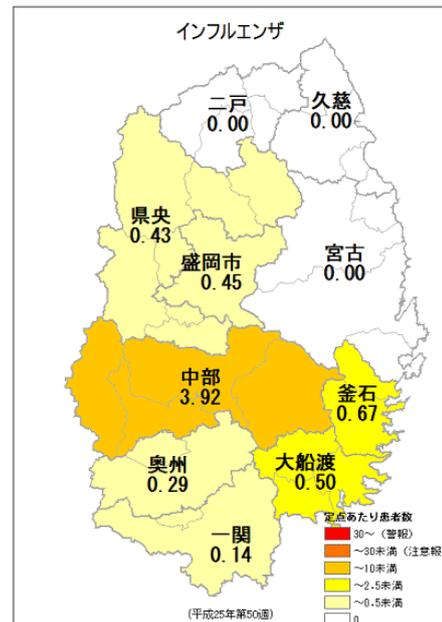
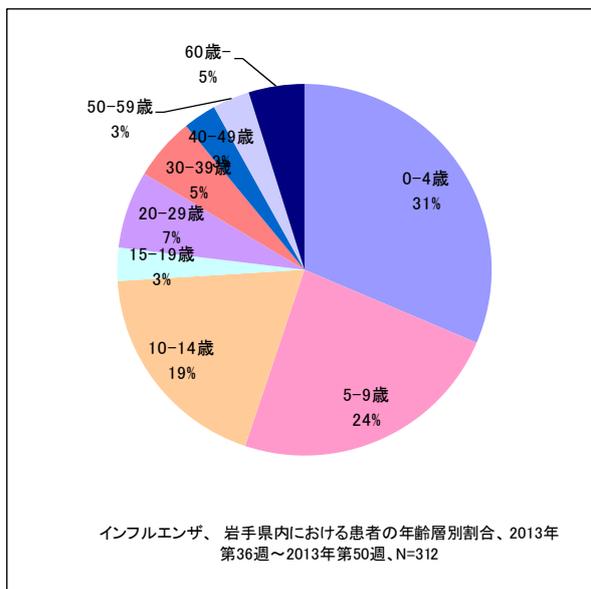
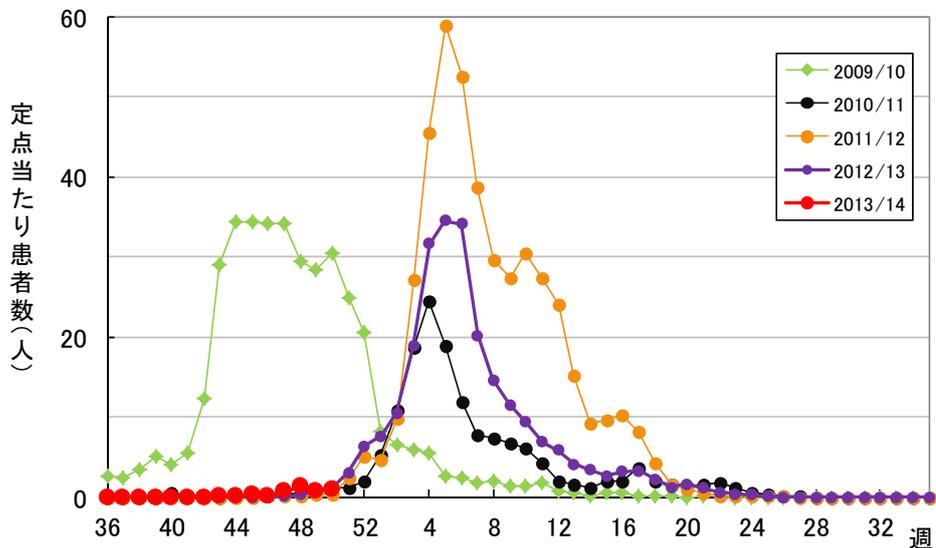
今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

インフルエンザは、第48週で県全体で定点あたり患者数1.36となり、流行の開始の指標である1.0人を超え、今年もインフルエンザの流行シーズンに入りました。第49週は0.88人、第50週は0.98人と大きな増加はみられません。予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど）、十分な休養と栄養をとることが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、流行拡大前の早めの接種が勧められます。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型ウイルスが検出されています。

インフルエンザ、岩手県(2009/10-2013/14)



今注目の感染症 (つづき)

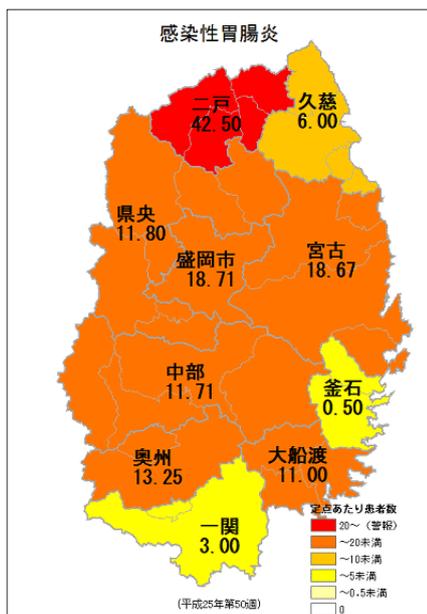
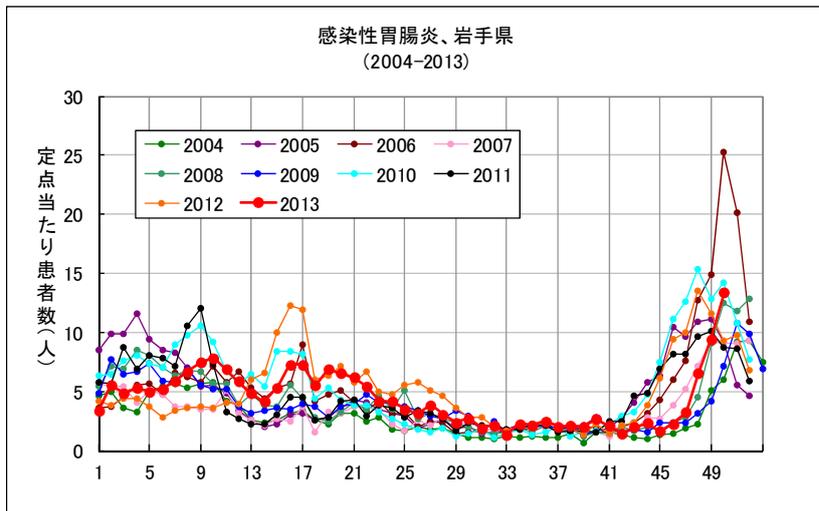
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスはロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では患者からは、流行の全般はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

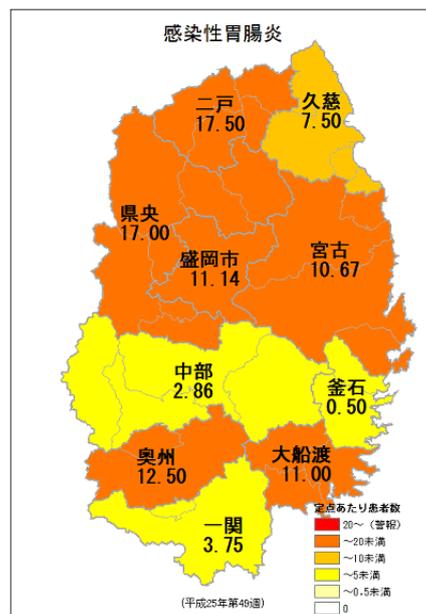
感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月頃から増加し12月にピークを迎えますが、今年は11月下旬より急激に増加し、12月に入ってこれまでにノロウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設で9例発生しています。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です、感染力が強いので、保育園や幼稚園などの集団生活の場では注意が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



第50週



第49週

病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

奥州市内の保育所 (園児数72名、職員数18名)

- ・12月6日(金)から12月12日(木)にかけ、10名(児童8名、職員2名)に症状(嘔吐、下痢等)
- ・有症者2名中2名(児童2名)からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園 (園児数101名、職員数31名)

- ・12月6日(金)から12月12日(木)にかけ、23名(園児22名、職員1名)に症状(嘔吐、下痢、腹痛等)
- ・有症者7名中6名(園児5名、職員1名)からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園 (園児数125名、職員数36名)

- ・11月27日(水)から12月13日(金)にかけ、23名(園児21名、職員2名)に症状(嘔吐、下痢、腹痛等)
- ・有症者10名中9名(園児7名、職員2名)からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園 (園児数110名、職員数26名)

- ・12月4日(水)から12月16日(月)にかけ、21名(園児19名、職員2名)に症状(嘔吐、下痢、腹痛等)
- ・有症者11名中11名(園児10名、職員1名)からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園 (園児数148名、職員数37名)

- ・12月3日(火)から12月18日(水)にかけ、13名(園児12名、職員1名)に症状(嘔吐、下痢、発熱等)
- ・有症者7名中6名(利用者10名、職員1名)からノロウイルスを確認

奥州市内の保育園 (児童数65名、職員数11名)

- ・12月7日(土)から12月15日(日)にかけ、11名(児童9名、職員2名)に症状(嘔吐、下痢、腹痛等)
- ・有症者10名中2名(園児1名、職員1名)からノロウイルスを確認

遠野市内の介護老人保健施設 (利用者数92名、職員数88名)

- ・12月11日(水)から12月13日(水)にかけ、19名(利用者15名、職員4名)に症状(嘔吐、下痢等)
- ・有症者15名中11名(利用者10名、職員1名)からノロウイルスを確認

○呼吸器感染症の集団発生について

盛岡市内の特別養護老人ホーム (入所者56名、職員48名)

- ・12月4日(水)から12月17日(火)にかけ 21名(入所者20名、職員1名)に症状(発熱、咳、痰等)
- ・有症者7名中5名(入所者5名)からRSウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について (12月13日～12月19日発表分)

- ・岩手県および盛岡市からの発表はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

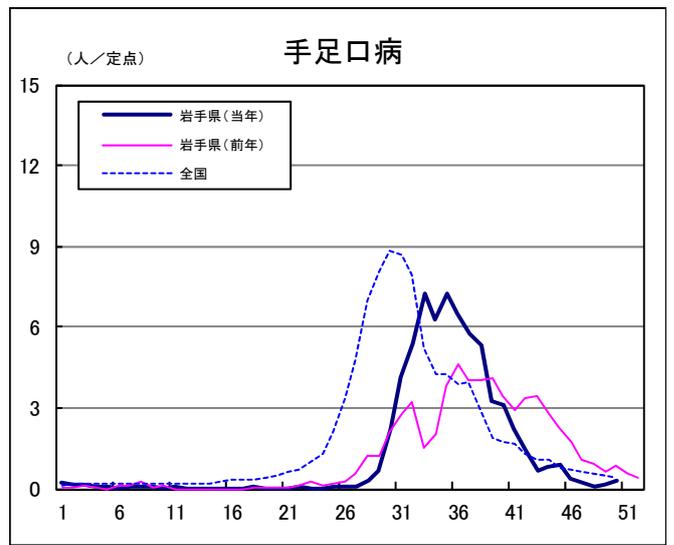
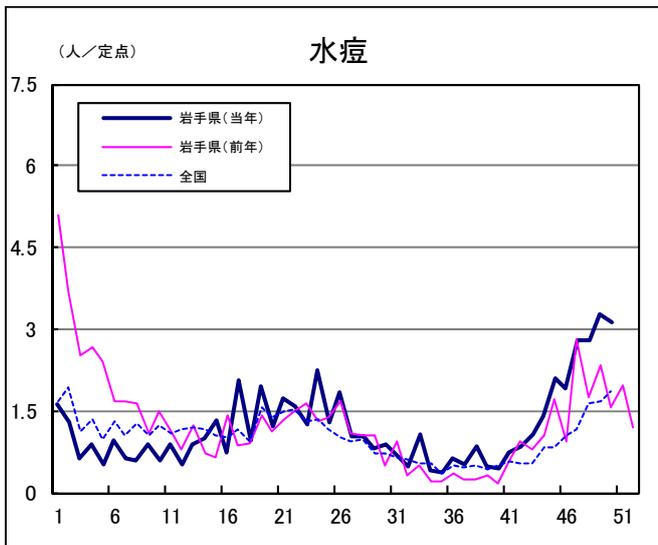
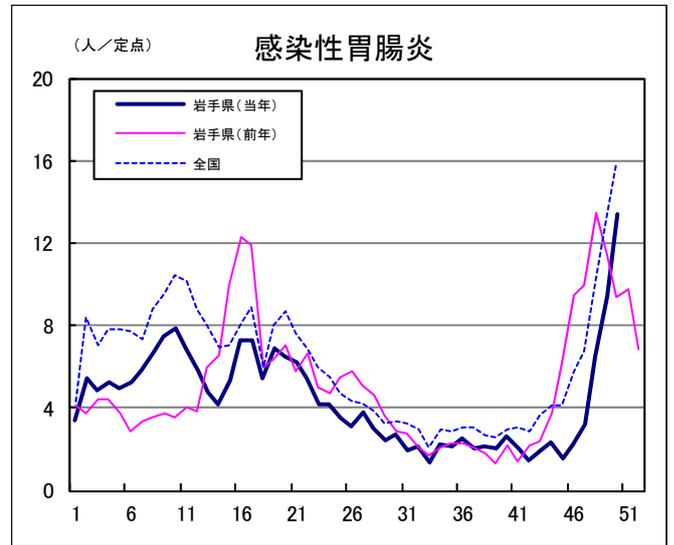
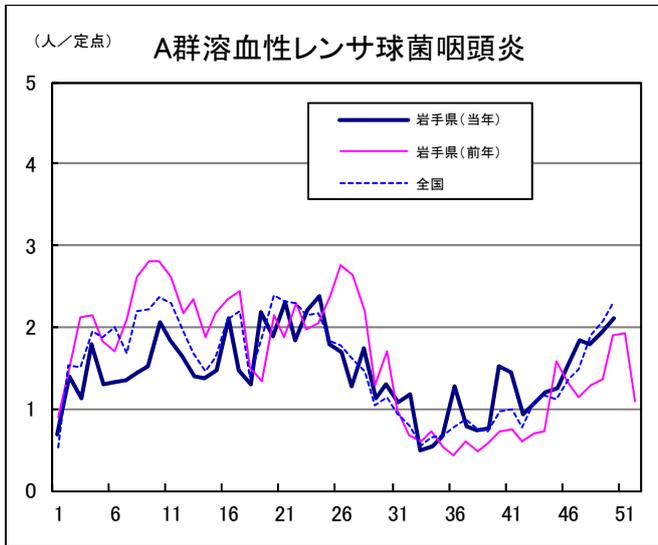
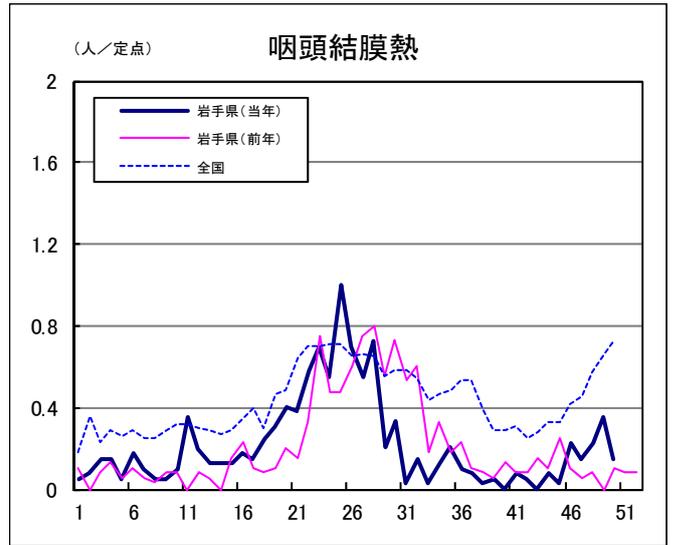
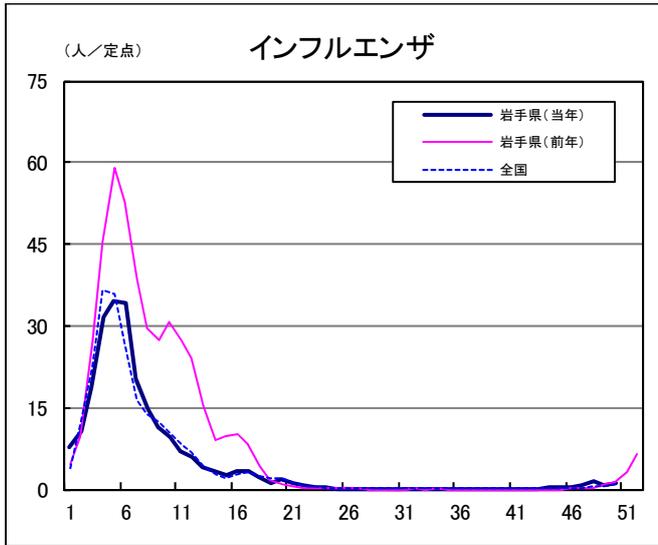
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

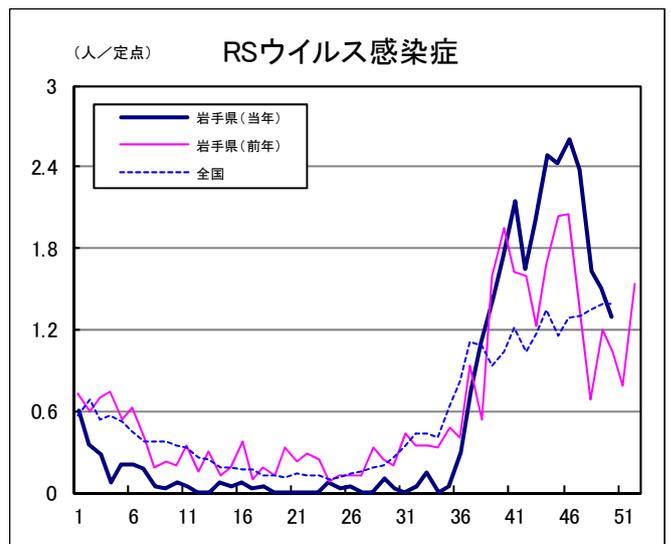
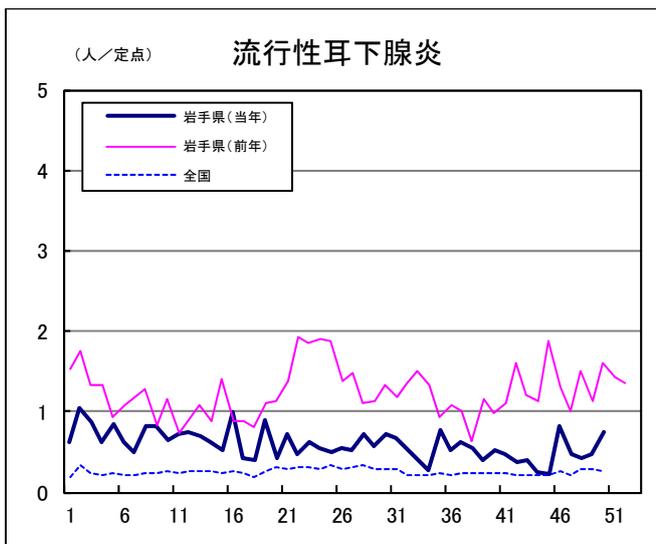
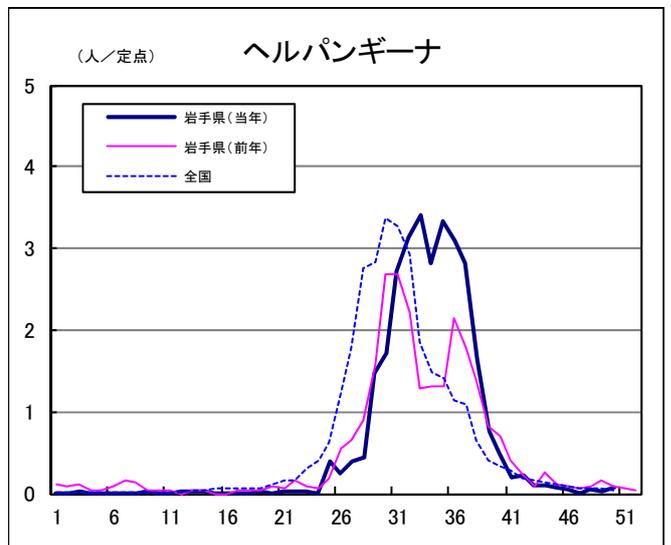
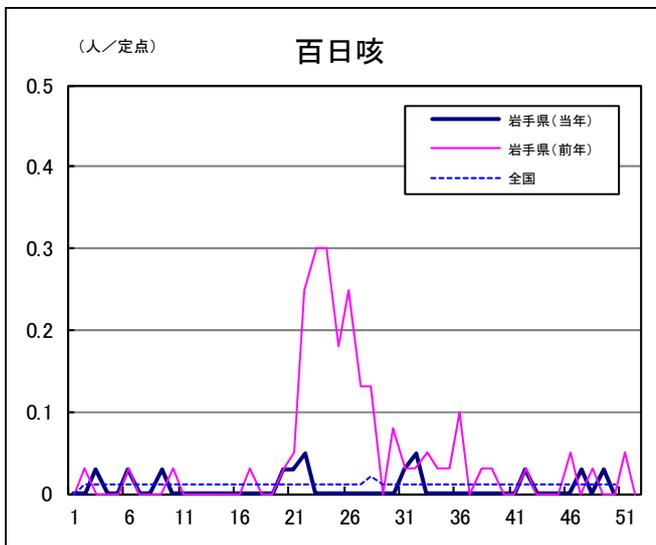
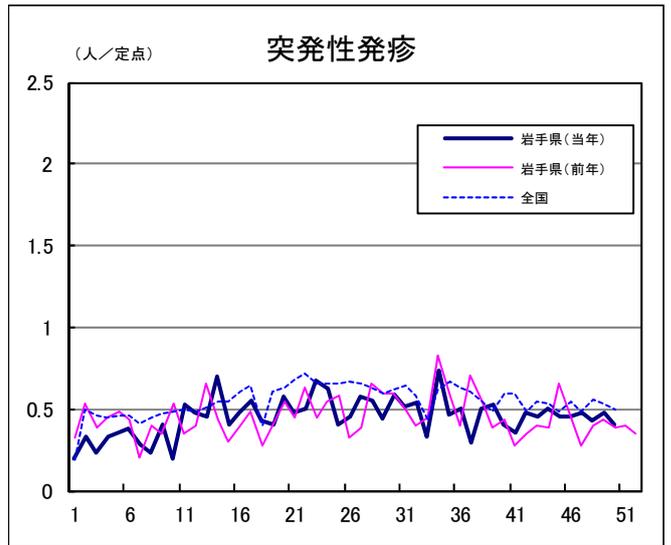
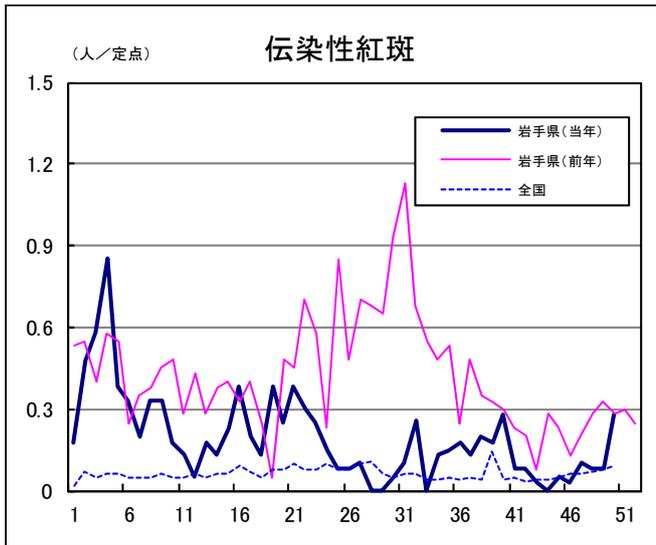
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

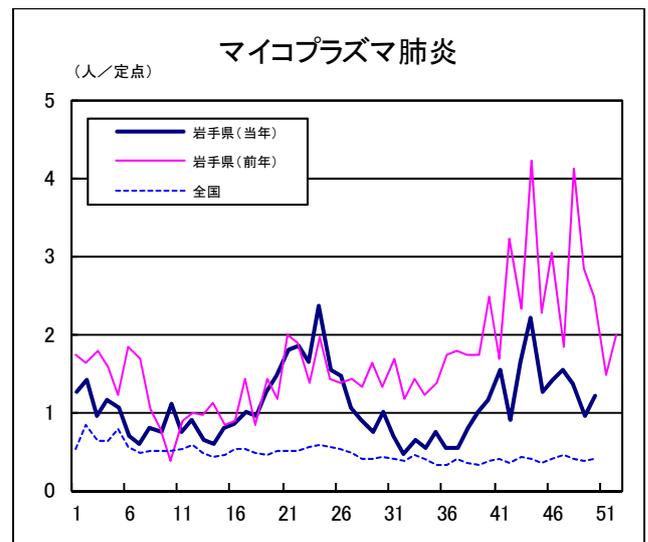
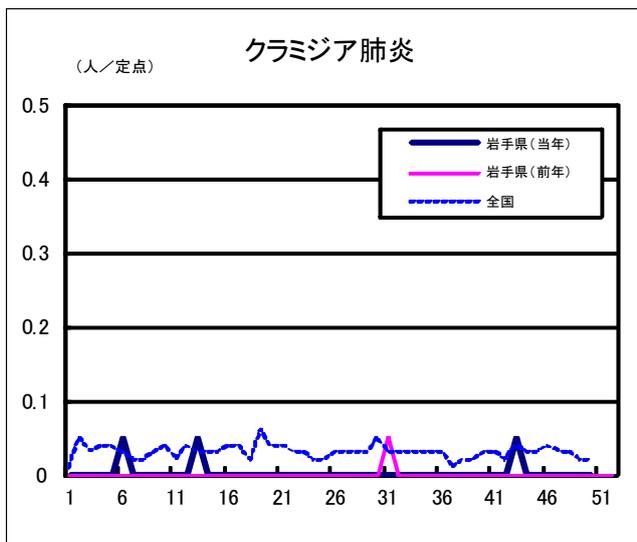
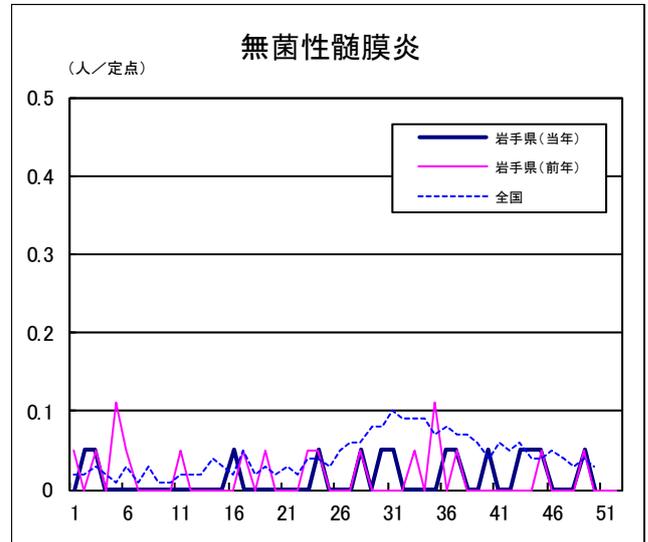
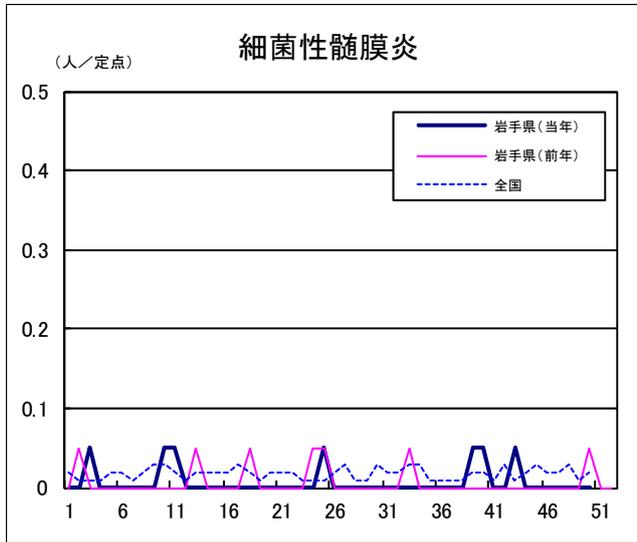
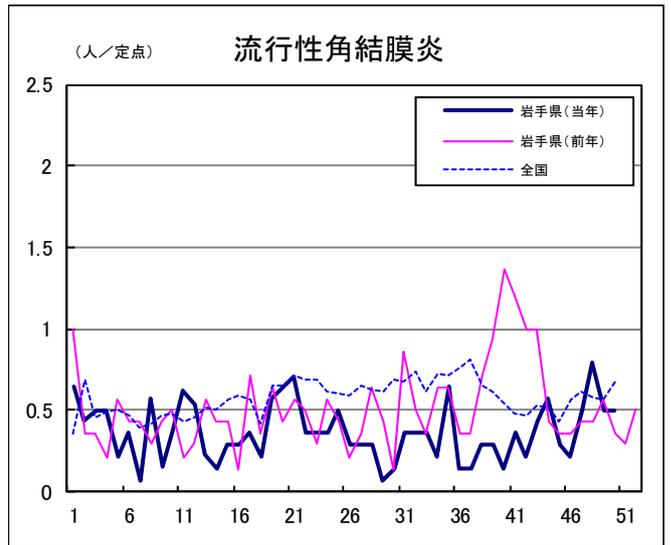
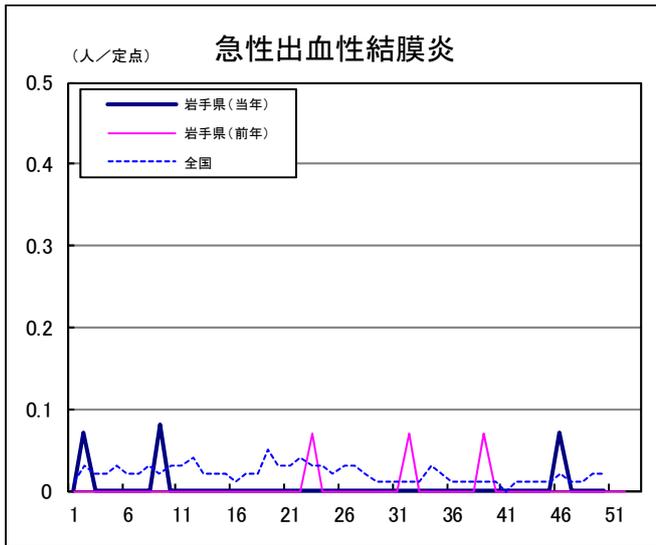
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第50週 平成25年12月20日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>